

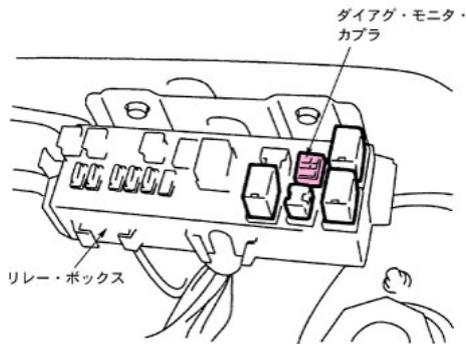
## 点火時期の点検・調整

- ①エンジンを完全暖機状態にする。
  - ②全ての電気負荷が作動していないことを確認する。
  - ③アイドル回転速度が基準値内であることを確認する。
- AT 車及び CVT 車は、N レンジで測定する。

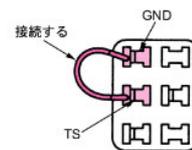
基準値：800±50 (rpm)

- ④エンジン・フード内側に貼付のインフォメーション・ラベルの指示（調整端子短絡位置）に従って、エンジン・ルーム内のダイアグ・モニタ・カプラを接続し、イニシャル点火時期にセットする。

ダイアグ・モニタ・カプラ：TS-GND



リレー・ボックス図



ダイアグ・モニタ・カプラ

- ⑤タイミング・ライトを No. 1 シリンダのイグニッション・コードに接続し、スロットル全閉のまま、タイミング・ベルト・カバーの表示とクランクシャフト・プーリの刻印位置で、点火時期が基準値であるかどうか点検する。

基準値：5 ± 1 / 800 ± 50 (° BTDC/rpm)

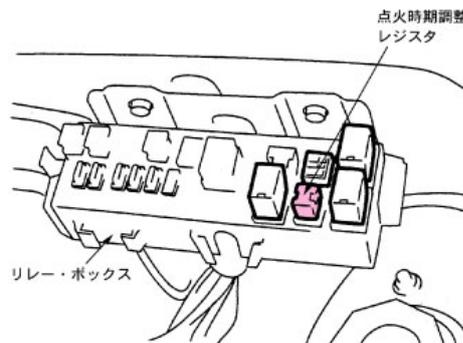
- ⑥点火時期が基準値から外れている場合は、エンジン・ルームのリレー・ボックス内にある点火時期調整レジスタを交換して、点火時期を基準値に調整する。（レジスタは、全部で 12 種類あり、12 段階の調整が可能である。）

点火時期	遅らせる ← → 進める											
マーク	1	2	3	4	5	N	6	7	8	9	10	11

- ⑦点火時期調整レジスタを交換した後、再度点火時期を点検する。
- ⑧イニシャル点火時期の設定を解除して、スロットル開度に応じて進角が行われることも確認する。



点火時期の点検



点火時期調整レジスタ